



2022年7月号

FUNs通信

就労移行支援事業所FUNs

第21号

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台2-11-6 淵野辺サトウビル2階
Tel:042-813-0809 Fax:042-813-3231 Email: info@funs2020.co.jp

『マーケティング』で大切な発想力

マーケティングの発想でよく使われるのが 消費者は「モノ」ではなく「コト」を買うということです。

例えば日本には、食品だけでも「パンの日」「トマトの日」など多くの記念日がありますが、それぞれ何月何日かわかる人が何人いるでしょうか？そして、「トマトの日」に普段の日よりトマトを食べたくなるでしょうか？

では、「母の日」「バレンタインデー」はどうでしょうか？ほぼすべての人が「母の日は5月の第2日曜日」「バレンタインデーは2月14日」と知っていると思いますし、知っているだけではなく、何かしらの行動をした経験を持つ人も多いはずですよ。

もし「母の日」が「カーネーションの日」だったら、「バレンタインデー」ではなく「チョコレートの日」だったら、ここまで普及していなかったと思われます。

いずれの日も、「モノ」ではなく「コト」を訴求したからこそ、普及したのです。

マーケティングとは顧客に「買いたい」と思わせることが大事です。これを応用し販売＝「買って下さい」という売り手言葉ではなく、「買いたい」と思ってもらう話法が必要です。

これは就職活動や、日常で話をする中でも非常に役に立つスキルだと思います。

相手の気持ちを想像し、理解した上で、相手の一歩先を行き相手に「価値（コト）」の提案をし、「相手の想い」と「こっちの想い」が共鳴するように話すことが、相手を引き付ける話法なのです！（及川）



7月のスケジュール

7月 行事予定

- 20日 FUNs FES
- 27日 ものづくり体験会

鈴蘭学園様からご寄稿をしていただきました。

☆鈴蘭学園の中村様とお会いし、私は非常に感銘を受けました。FUNs通信で関わっていただいている皆様にもご紹介したいと思い、今回寄稿していただきました。（山岸）☆

はじめまして。矢部駅近くの一軒家で、不登校・ひきこもり・学校が苦手な子どもたちへの居場所の提供をしています、フリースクール鈴蘭学園の中村と申します。

今年で15周年を迎えました。これまで沢山の方が利用されました。その中で、不登校支援とは、困っている親子を「助ける」のではなく「寄り添う」ことであり、その人と共にあることだと理解しました。

ゆっくり休養したい時は、ゆっくり休養させてあげる。そのときに私たちが行える支援は、次のステップに備えて情報を集め、動き始めたときの選択肢を提供することです。

やるかやらないかは本人次第だと思います。ただ、本人が動き始めたら早いですよ。フリースクールに通い始めて2～3ヶ月、最初は週1日だったのに、自分のペースをつかみながら自ら通う日数を増やしていきます。これも一つの大きな成長ですね。

これから先も笑顔の絶えない、未来に繋がる居場所作りをしていきたいと思っています。

（特定非営利活動法人鈴蘭学園 フリースクール鈴蘭学園 中村様）

<https://www.fs-suzuran-gakuen.org/>



編集後記

今回寄稿していただいた鈴蘭学園の中村様、ご多忙の所素晴らしい寄稿をして頂き誠にありがとうございます。

今後は、関係機関や企業様のご案内も載せさせていただきたいと思っています。ネットワーク充実の一環としてご利用ください（紙谷）

虐待委員会を開催して気付いたこと

先日、虐待防止委員会を行いました。

ひと言で虐待と言っても、様々な形の虐待があります。私は長年介護職に就いていたので、虐待という問題には常に向き合ってきたつもりでいました。しかし今回の委員会で改めて気付かされたことがあります。

それは「“つもり”はなくても虐待になっているかもしれない」ということです。例えば私たちスタッフがご利用者様に普段している言動も、ご本人や周りの方が不快に感じるならば虐待になってしまいます。

自分では親しみを込めたつもりでも、もしかしたら相手を傷付けてしまっているかもしれない。スタッフ全員が普段のふるまいを振り返り、これからのご利用者様との関わり方を考えることが出来た委員会になりました。

私自身も今一度身を引き締めて、相手の立場に立った思いやりのある言動でご利用者様と関わっていかねばと思います。(田中)

リモート支援も日々更新

FUNsではリモートプログラムの提供を行っております。在宅にて課題の実施を行っていますが、リモートプログラムの幅を拡げることで、在宅でも充実した“就労支援”を提供したいとFUNsでは常に考えています。

テキストの穴あき問題・調べ学習課題・プログラムPDF学習・プログラムリアルタイム配信・感想文課題・資格取得学習・pc課題(オフィスソフトおよびデザインソフト)・セルフケア・外出課題・ものづくり……

を今後提供したいと考えています。FUNsの強みは個別支援です。リモートでも個別支援の強みを出して支援をしていきます。(山岸)

利用者リレーコラム～ピククルボール体験～

6月23日(木)にけやき体育館でピククルボールをFUNsのご利用者様達と一緒にやりました。

今回が初参加のご利用者様は、紙谷さんと一緒にピククルボールの基本を教えてもらっていました。2回目参加のご利用者様は前回と同じようにコートに4人1組に分かれて打ち合い、その中でミスショットや空振りした人が休憩をしつつ、ピククルボールをみんなで楽しみました。

一度パドルの上でワンバウンドさせて相手コートに返すなどして少し難易度が上がりました。

最後は前回同様、最後は紙谷さんが打ち上げてくれたボールをスマッシュして練習終了です。

とてもいい汗をかかせてもらいました。来月もピククルボールがあったら是非参加したいです。(津田)



Fuchinobe Unique Navigations Info

就職後のフォローをしています。

FUNsが就労定着支援を開始して3か月が経過しました。就労先で、元気でキラキラした充実した表情で勤務している姿を見ることが、私たちスタッフにとって何物にも代えがたい喜びです。

就労したての頃には気づきにくい落とし穴があります。就労したばかりでは職場の右も左もわからない状態+日々の生活の環境や時間の使い方の変化などで、知らずのうちに疲弊していることに気が付かないこともしばしばあると思います。

「もっと頑張らなきゃ！早く仕事に慣れなきゃ！」の緊張感が自身の疲れを気付きにくくさせるのだと思います。

就労したばかりの方には「頑張りすぎてない？肩に力入りすぎてない？」と自分にも目を向けてもらう声掛けをするようにしています。(金崎)

ヒヤリ・ハットのすすめ

ヒヤリ・ハットとは、重大な災害や事故には至らないものの、直結してもおかしくない一歩手前の事例のことだそうです。

文字通り、ヒヤリとしたり、ハットとしたりするものと考えてみると、私生活でももちろんありますが、ご利用者様が利用されるスペースでは絶対に防がなくてはなりません。

イレギュラーな事も多いとは思いますが、怪我の大きさは関係なく、自分の価値観でもなく、事前に防ぐための策を立てることと、その予防策を探していく事が必要と考えています。

1件の重大事故が起こるには300件ほどのヒヤリ・ハットが絡んでくるとも言われています。取り返しのつかない重大な事故を防ぐには、小さなヒヤリ・ハットを見逃さないことが大切です。自分の価値観だけで『ここは危険ではない』と断定するのではなく、『これは危険かもしれない』『痛いと感じるかもしれない』と他の人の事を思いやる事が防止策にもなると考えます。ご利用者様が安心して過ごせる事業所作りの為、事前に探す事、経緯を調査し原因を探る事をしていきたいです。(井川)

第一回 冷凍うどんコンテスト

今度、「レンジで出来る冷凍うどんコンテスト」をします！日程は未定です(笑)予算は300円。発案者の私も、参加するご利用者様も、試食係を買って出たご利用者様もノリノリになっています。こんな時期だからこそ楽しい企画を考えたいですね！(紙谷)